

平成30年度 国立淡路青少年交流の家 教育事業
自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業 実施報告



【趣旨】全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験活動指導者を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

【主催】国立淡路青少年交流の家

【共催】神戸市立自然の家

【後援】兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

【日時】平成30年8月29日（水）～8月31日（金） <2泊3日>

【会場】神戸市立自然の家（神戸市灘区六甲山町中一里山1-1）

【参加者数】17名（定員30名）

【講師】西村 典芳 氏（神戸山手大学 教授）

高見 和至 氏（神戸大学 教授）

三浦 正純 氏（神戸市立自然の家 所長）

大本 晋也（国立淡路青少年交流の家 所長）

片山 貞実（国立淡路青少年交流の家 次長）



【プログラム内容】

8月29日（水）

<ガイダンス>

自然体験活動指導者認定制度の仕組みや社会的な役割を説明した。

<青少年教育の体験活動>

現代を取り巻く青少年の課題、体験を通して育みたい力についてグループで考え、お互いに発表し共有した。

<自然体験活動の技術①>

アイスブレイクや野外炊飯を体験しながら、自然体験活動の指導に必要な技術やポイントを学んだ。

<対象者理解>

心や身体の発達段階を理解した上で指導することの大切さや、コミュニケーションの基本となる声掛けの重要性を学んだ。



8月30日（木）

＜自然体験活動の安全管理＞

安全管理の基礎や自然体験活動におけるリスクの発見方法など講義を通して安全管理について学んだ。



＜自然体験活動の特質、自然体験活動の技術②・③＞

自然体験活動のプログラムやアクティビティの特質について、企画の立て方について学んだ後、これまでの2日間の講義・実習で学んだことを活かし、実際に5泊6日で宿泊する小学校からアクティビティ作成及び指導を依頼されたという想定で、与件をもとにアクティビティをグループで検討した。

完成したアクティビティは参加者の前でプレゼンし、講師や参加者からもらった意見をもとにブラッシュアップをした。

8月31日（金）

＜自然体験活動の指導、自然体験活動の技術④＞

発表するグループを除き参加者を小学生に見立て、グループ毎に考えたアクティビティを実演した。終了後は講師から、指導者として必要な心構えや安全管理、指導のポイントを説明していただいた。



＜講習まとめ・認定試験＞

3日間のまとめを行い、自然体験活動指導者の認定試験を行った。



【参加者の声】

- ・研修内容は、いい経験になった。
- ・全てのことが自分にとって大変になるものだった。
- ・講師から新しいことを学び、ご指導いただくことができた。
- ・3日間いい経験になった。
- ・グループディスカッションは、勉強になった。

【まとめ】

- ・3日間の講義や演習を通して、自然体験活動の指導者として必要なスキルや技術を学ぶことができた。
- ・アクティビティの発表では、講師から時に厳しい指摘を受けながら、グループで検討したことによって、深い学びにつながった。
- ・ボランティア、大学生、施設職員、教師など様々な業種の参加者がいたことによって、有意義な情報交換ができ、参加者同士のつながりができた。